いちき串木野準倫理法人会開設記念式典

初代会長に内徳氏

いちき串木野準倫理法人会開設記念式典が8日、いちき串木野市の国民宿舎吹上浜荘で開かれ、初代会長に内徳元衛氏（㈲三和商事）が就任した。

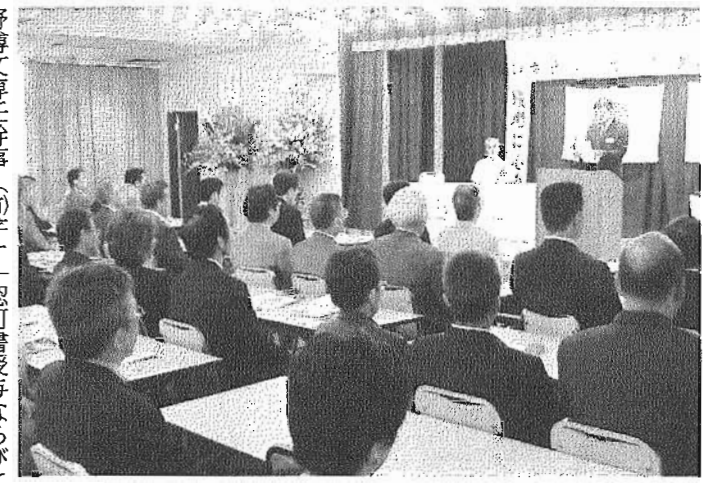
式典では初めに、芹ケ野博文専任幹事（㈲芹ケ野建設）が開設に至るまでの経緯について報告。薩摩川内市倫理法人会（宇都要一会長）を中心にした協力体制の下、一致団結して活動を進め開設の日を迎えることができたことを説明。次いで、認可書授与ならびに役員の辞令交付式では、倫理研究所の中西浩常任理事から内徳会長らに辞令が交付された。

引き続き、中西常任理事の式辞の後、内徳会長が「皆さまのおかげで開設を迎えられたことを感謝します。純粋倫理の普及活動に努め地域社会の発展に貢献していきたい」と決意を述べた。

式典終了後は、「人は前に進まねばならない」と題して、中西常任理事が記念講演を行ったほか、祝賀会も盛大に開かれた。

役員は次の通り。

会長＝内徳元衛▽副会長＝濱田精蔵（㈲匠蔵）二俣数美（㈲あおぞら）▽専任幹事＝芹ケ野博文▽事務長＝西田憲智（㈲西田塗装）▽幹事＝石岡敏紀（げんば改善研究）濱邊義己（㈲ハマベ鉄工設備）濱田洋一朗（浜田道路㈱）宝楽優（㈲宝楽水道設備）冨ケ原達郎（㈲冨ケ原組）▽監査＝東福立子（㈱協栄）橋口昭人（㈲ミートハシグチ）白啓伍（㈲サニテック）西垂水修（垂水緑地建設）西垂水健司（㈲知覧石油）仁田尾嘉和（㈲友和技研）福永龍二（鹿児島信用金庫知覧支店）伊勢知浩二（鹿児島銀行知覧支店）菊永正三（南薩観光㈲）菊永正一（㈱ケイズコーポレーション）前山誠（㈲前山建設）菊永末彦（㈲菊永石油）



地域社会の発展に貢献していきたい－と謝辞を述べる内徳会長＝いちき串木野市の国民宿舎吹上浜荘で

三竹工業が資源リサイクル見学会

再生チップに興味津々

㈱三竹工業（竹下豪社長）はこのほど、三島村黒島の工事現場で大里小・中学校の生徒ら15人を対象に資源リサイクル見学会を開いた。

同見学会は、土木工事で発生する産業廃棄物（木や草等）の再利用等への認識を深めてもらおうと開かれたもの。今回は、同社が施工中の特殊改良一種工事（黒島17－2工区）片泊大里港線の工事現場で実施した。

現場を案内した現場代理人の田中氏は、「工事で発生した木や草は、産廃として処分する必要があります。しかし、三島村には大きな産廃処分場がなく、鹿児島市へ船で運搬しているのが現状。これではコストがかかりすぎてしまうため、チップにして再利用するものです」などと説明。参加した生徒らは、普段見ることのできない現場の様子を興味深く見入っていた。

このほか、移動式木質系シュレッダーからチップが製造されるまでの工程の説明や実演も行われた。製造されたチップを手にした田中氏が「こうすることで土や堆肥になりやすいんですよ」と説明すると、生徒らは驚いた表情を見せていた。

製造されたチップを手にする生徒ら＝三島村黒島の工事現場で

南薩法人会知覧地区会青年部会

恒例の街路灯清掃

南薩法人会知覧地区青年部（村永孝幸部会長）は3日、同町商店街の街路灯清掃作業を実施した。

この活動は、年間活動として地元で開催される花火大会、ミニバレー大会、ボウリング大会など、地域活性化を図るための異業種交流組織としてさまざまな活動を続けてきた。しかし、当初の目的を逸脱した法人組織が横行し、全国的にもこれからの法人組織の在り方が問われている中、新たな事業活動の創出を図るためのステップとして始められたもの。

作業は、武家屋敷前付近から知覧パラダイスへと通じる交差点までの約2・2㎞の街路灯80基を4班に分かれて実施。会員らは高所作業者のバケットに乗りながら、ほうきやぞうきんを使って1本ずつ丁寧に拭き上げた。

参加会員は次の通り。

射手園郁男（㈲アイディアルホーム）蔵元要三（知覧ビジネスセンター）折田明弘（㈲折田菓子舗）浜田真一（㈲浜田茶業）宇都和久（㈲宇都自動車商会）蔵元泰正（㈲知覧新聞販売所）宮原俊郎（㈲宮原製茶工場）鳥浜明久（㈲鳥浜）菊永正幸（㈲菊永自動車）前原米男（㈲前原建設）前原博法（㈲前原製茶）真茅孝一（㈲真茅商店）前田晃（㈲前田工務店）藤

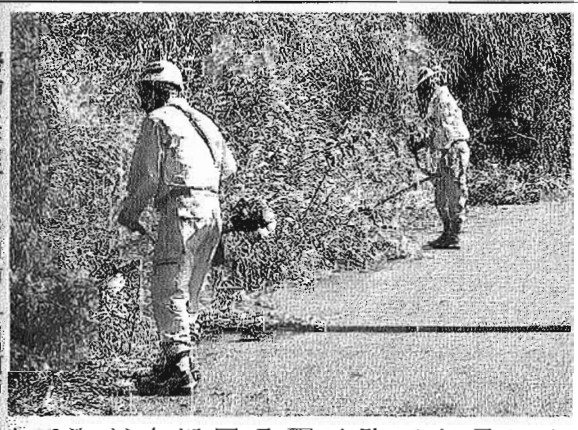
高所作業車で街路灯を磨き上げる会員＝知覧町商店街で

佐多建設・サンライフ・森組

合同で初の清掃奉仕

㈲佐多建設（瀬戸山慶喜社長）、サンライフ㈱（前村弘社長）、㈲森組（森博喜社長）は5日、3社合同で南大隅町佐多浦地区内の清掃作業を行った。

作業に先立ち、森社長が「熱中症にならないよう、こまめな水分補給を心掛け、また、通行車両や歩行者に気をつけて安全に作業を行ってください」と挨拶。作業には3社から14人の作業員が参加した。それぞれ草払い機やくま手を持ち、通行を妨げる道路沿いの高木伐採や、空き缶やごみ拾いなど、流れ出る汗を拭きながら黙々と作業をした。刈り取った草や木はタイヤショベルで回収し2tダンプに積み込み処分場に運んだ。日差しは強く、日陰で真っ赤になり、全身汗でびしょ濡れになりながらも、すがすがしい顔をしていた。瀬戸山社長は「日ごろお世話になっている地域住民の方々への感謝の気持ちで取り組んだ。盆休みなどで帰省される方々にはきれいな郷土を見てもらいたい」と述べ、村岡専務（サンライフ㈱）は「1社で行うより、合同で行ったほうがより大きな成果があった。次回も合同で行いたい」と話した。



懸命に作業する参加者＝大隅町佐多浦で

瀬戸内建設業協会が奉仕活動

海岸愛護へ積極参加

快適で潤いのある海岸環境を保とうーと、瀬戸内町主催の海岸愛護作業がこのほど、ヤドリ浜など町内の各海岸で行われ、役場職員をはじめ瀬戸内建設業協会（伊東一宏会長）、大島支庁瀬戸内事務所など6団体が参加して清掃作業にあたった。

同作業は毎年、「海の日」にちなんで実施しているもので、海岸の重要性について町民の理解と関心を深めるとともに、海岸愛護思想の普及と啓発を目的に毎年実施している。

作業は市街地道路をはじめヤドリ浜海岸、嘉鉄海岸、蘇刈海岸、清水海岸などで実施。このうち瀬戸内建設業協会からは50人が参加した。参加者らは海岸や周辺道路の空き缶やペットボトル、木片などを種類ごとに分別しごみ袋に集めていった。また同協会は、各作業現場を巡回し、集められたごみの回収を行うなど積極的に活動した。

今回の作業について伊東会長は「われわれが率先して参加することで、地域住民の環境への意識が高まればありがたい。今後も地元への貢献という気概で、あらゆる活動に積極的に取り組みたい」と抱負を語った。

海岸近くの清掃を行う参加者＝瀬戸内町の現地で

SPACE HOUSE が鹿児島に
スペースハウス
新登場
・簡単，スピーディーな作業
・安全性，快適性を重視
・コンセント，照明・換気扇付
・運搬時のコストダウン化
ハウス事業部
鹿児島支店
鹿児島市永吉町（アリーナ近く）
☎ (099) 250-5060番
FAX (099) 285-5999番
串木野支店
いちき串木野市さつま山（R3号線沿）
☎ (0996) 32-2839番
FAX (0996) 32-4156番
スペースハウス『エクストラ』
販売・リース 県下総代理店
中央仮設株式会社
☎(099) 229-5900